

1. 山行計画名	奥日光千手ヶ原・小田代ヶ原・戦場ヶ原ハイキング [1485m/栃木県]
2. 目的	湖を繋ぐ原生林を歩いて日本最大級のクリソウの自生地を訪ね、奥日光の山々をお供に、ワタスゲ揺れる小田代ヶ原と戦場ヶ原を辿って初夏の湿原の景色と空気を満喫する
3. 期日	平成31年6月16日(日) 日帰り 小雨決行
4. 募集対象者	レベル★★ ハイエース利用 募集人員：12名まで
5. パーティスタッフ	CL: SL: 会計: 救護: 写真:
6. 歩行/行動時間	歩行4:05 (ガイドブック 3:25) / 行動6:18
7. 集合場所・時間	始発: 鳶尾団地 6:00 (菰野新宿・及川中原・林経由) / 本厚木旧ヨーカドー前 6:20
8. 解散場所・時間	本厚木旧ヨーカドー前 20:30頃 / (同上経由) / 終点: 鳶尾団地 20:50頃
9. 費用(交通費)	約6,500円 [10名参加の場合] ハイエースレンタル料金¥17,388、ドライバ謝礼(20000+距離1000)¥21,000、燃料代(120x(500/8))¥7,500、高速料金(圏央厚木-清滝:@6, 450x2)¥12,900/計¥58,788/10人⇒@5,900、シャトルバス代(300x2)¥600
10. コースタイム	圏央道/東北道/日光道/いろは坂 シャトルバス 0:40 鳶尾==旧ヨーカドー前==圏央厚木 IC==白岡 Jct==宇都宮 IC==清滝 IC==赤沼茶屋==西ノ湖入口— 6:00 6:20 6:40 8:20 8:40 9:40/10:10* 10:32 (朝食) 1:10 (クリソウ鑑賞) 0:10 シャトルバス 1:05 0:15 0:45+休0:10(ワタスゲ) 西ノ湖—千手ヶ原/仙人庵—千手ヶ原バス停==小田代ヶ原入口—泉門池—青木橋— 11:12/1:35 12:45/13:45 13:55/14:10* 14:27/14:45 15:50/16:00 16:15 日光道/東北道/圏央道 *シャトルバスの発車時刻は2018年のダイヤで、変更の可能性あり。 赤沼茶屋==清滝 IC==宇都宮 IC==白岡 JCT==圏央厚木 IC==旧ヨーカドー前==鳶尾 17:10/17:30 19:10 19:30 20:10 20:30 20:50頃
11. 概念図	
12. 1/25000 地形図	男体山、中禪寺湖 【奥日光シャトルバス運行状況】日光自然博物館 088-55-0880
13. 問い合わせ先	【奥日光観光情報】日光市環境課環境政策室 088-21-5152
14. 共同装備	救護袋、カメラ
15. 個人装備	雨具一式、昼食、行動食、飲料水、計画書・参加者名簿、筆記具、携帯電話、敷物、山岳保険加入証カード (JMAorJRO)、健康保険証、現金、ストック(ゴムキャップ付)、トレッキングシューズ、帽子、手袋、
16. 募集締切日	2019年4月例会 (4/20【土】)
17. 提案・説明	2019年3月例会 (3/16【土】) 電子版配布 (3/2)
18. 特記事項	<p>雨の降る確率が高い梅雨時期の山行ですので、少々雨天でも実施します。道は良く整備されていますが、後半は濡れると滑りやすい木道です。防水のトレッキングシューズにストック、しっかりした雨装備をしてご参加下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥日光はサクラソウ科のクリソウが自生する山域として知られていますが、その中でも中禪寺湖西岸の千手ヶ原には、日本最大級クリソウ群生地があり、6月上〜下にかけて、数万株の色とりどりのクリソウが一面は咲きそろい、そのあまりにも見事な景観は極楽浄土を想起させます。また、千手ヶ原の砂浜から望む中禪寺湖対岸に聳え立つ日光男体山の秀麗な姿に感激するでしょう。 ・今回は千手ヶ原の西奥にひっそり佇む周囲約1kmの西ノ湖に立寄り、ここから柳沢川沿いの原生林内をクリソウ群生地まで森林浴を楽しみながら1時間ほど歩きます。 ・行程後半は、小田代ヶ原湿原の西側を半周して、泉門池で湯川沿いに付けられた自然観察路の木道を辿って、戦場ヶ原湿原内に揺れるワタスゲの群落や四方を囲む男体山、大真名子・小真名子山、太郎山、金精山、日光白根山の前山を愛でながら、ハイエース待つ赤沼茶屋まで歩いて戻ります。 ・この時期赤沼茶屋から千手ヶ原間を運行しているシャトルバスを往復とも一部利用する予定ですが、この時期の週末は登山客でバスが大変混み合っており、予定通り進めない可能性も考えられます。その際は、行程の一部を適宜割愛・変更する場合がありますのでご承知おきください。